

科目の年間授業計画

教科・科目	家庭・家庭総合 〈必修科目〉	単位数 2単位 4単位を1、2学年で分割履修	履修学年(年次) 1学年(年次)
目標	<p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるようにする。</p> <p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けるようにする。</p> <p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を養う。</p>		
使用教材	クリエイティブ・リビングCreative Living『家庭総合』で生活をつくろう(大修館書店)		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技能を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
評価方法	定期試験、小レポート、小テスト、実習の取組および技術、作品等を3観点別に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<p>第1章 生活のマネジメント</p> <p>1 生涯発達し続ける…ライフステージと発達課題…</p> <p>2 意思決定を重ねてつくる人生…意思決定と生活資源…</p> <p>3 どんな生き方をする?…ライフスタイルの選択…</p> <p>第2章 青年期のマネジメント</p> <p>1 子どもからおとなへ…青年期の発達課題…</p> <p>2 自立の達成をめざそう…青年期と自立…</p> <p>第3章 家族・家庭生活マネジメント</p> <p>1 家族って何だろう…家庭の定義と家族構成の変化…</p> <p>2 わかってくれて当然?…家族の人間関係と家族の問題…</p> <p>3 生活マネジメントの拠点…家庭の機能と労働…</p> <p>4 法律から見る家族・家庭…家族・家庭の法律…</p> <p>5 ダイバーシティの実現をめざす…家族・家庭と社会…</p>	<p>第1章 生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の発達段階の特徴と発達課題を知る。 ・生活を支える資源にはどのようなものがあるかを理解する。 ・さまざまなライフステージがあることを知る。 <p>第2章 青年期のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と自分自身について自己理解を深める。 ・青年期は、自己実現にむけて生きていくための準備をする時期であることを理解する。 <p>第3章 家族・家庭生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と世帯について理解する。 ・家族の人間関係について事例、演習等を通じて考える。 ・家庭が家族個人や社会に果たしている機能を理解する。 ・家族・家庭に関する法律等を理解する。 ・私たちの社会は、多様な生き方で成り立つことを理解する。 	
2	<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <p>1 生活を営むためのお金…経済的な自立…</p> <p>2 経済のしくみを知ろう…家計の構造と社会…</p> <p>3 お金と上手につきあう術…経済計画とリスク管理…</p> <p>4 18歳で変わる消費生活…消費と契約…</p> <p>5 進むキャッシュレス社会…購入方法・支払い方法の多様化…</p> <p>6 「お金を借りる」ということ…消費者信用の利用と管理…</p> <p>7 消費者トラブルの今…多様化する消費者問題…</p> <p>8 消費者の自立を支援する…消費者保護の法律としくみ…</p> <p>9 情報社会を生きる…情報の収集と整理…</p> <p>10 私たちが社会を動かす…消費者の権利と責任…</p>	<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立について理解する。 ・家計を中心とした経済の循環を知る。 ・リスク管理について知る。 ・消費にかかわる契約について理解する。 ・キャッシュレス社会の利便性と問題点を理解する。 ・多様な購入方法・支払い方法について理解する。 ・多重債務に陥る可能性を理解し、予防、対応を考える。 ・多様化する消費者問題について理解する。 ・情報源による生活情報の違いを理解する。 ・消費者の権利と責任について理解し、行動できる。 	
3	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <p>1 人と被服の関わり…衣生活の現状と課題…</p> <p>2 和服を着たこと、ある?…日本と世界の衣文化…</p> <p>3 快適な被服の条件…被服の機能と快適性…</p> <p>4 夏は麻、冬は毛の理由…被服材料と性能…</p> <p>5 健康と安全を守る被服…被服と安全・衛生…</p> <p>6 長持ちさせる手入れ…被服の管理…</p> <p>7 被服の3R、実践してる?…資源としての被服…</p> <p>8 オリジナルの被服をつくる…被服製作の技能と被服実習…</p> <p>9 衣生活のPDCA…被服計画…</p>	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の衣生活について理解する。 ・日本の衣服の変遷を知り、現在の和服に関心をもつ。 ・季節に合った快適な被服を着装することができる。 ・繊維の種類と特徴について理解する。 ・被服着用による健康障害や事故について知識を深める。 ・効率のよい洗濯をするための条件を理解する。 ・衣生活での3R(リペア・リフォーム・リメイク)を知る。 ・オリジナルの被服をデザインする。 ・被服計画(衣生活のPDCA)の流れを理解し被服計画を立てる。 	
学習上の留意点	学習を自分の生活や人生、社会に結びつけ、自らマネジメントできる力を身につける。		

科目の年間授業計画

教科・科目	家庭・家庭総合（必修科目）	単位数 2単位 4単位を1、2学年で分割履修	履修学年(年次) 2学年（年次）
目標	<p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるようにする。</p> <p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けるようにする。</p> <p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を養う。</p>		
使用教材	クリエイティブ・リビングCreative Living『家庭総合』で生活をつくろう（大修館書店）		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技能を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもと高齢者の関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
評価方法	定期試験、小レポート、小テスト、実習の取組および技術、作品等を3観点別に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<p>第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント</p> <p>1 子どもの世界を知る…子どもの時期の大切さ…</p> <p>2 命の誕生…妊娠・胎児の発育…</p> <p>3 こんにちは、赤ちゃん…乳児の成長・発達…</p> <p>4 好奇心いっぱい…幼児の成長・発達…</p> <p>5 子どものいる暮らし…子どもの生活と保育…</p> <p>6 子どもの仕事は「遊び」…子どもの生活と遊び…</p> <p>7 子どもの健康と事故…子どもの健康と安全…</p> <p>8 親になるということ…親の責任と役割…</p> <p>9 社会で子育て…子どもの人権と親子の福祉…</p>	<p>第4章 高齢期の生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は成長していく存在であることを知る。 ・子育ては妊娠中からすでに始まっているということを理解する。 ・新生児期・乳児期の子どもと心の発達をこまかく知る。 ・幼児期の子どもと心の発達をこまかく知る。 ・子どもにとって生活習慣を身につけることの重要性を知る。 ・遊びの意義を理解し、児童文化に関心をもつ。 ・子どもの健康と安全について、基本的な理解を得る。 ・子どもの人間形成のために必要な親の役割と責任を学ぶ。 ・子どもを取り巻く問題を知り、その解決方法を考える。 	
2	<p>第5章 高齢期の生活のマネジメント</p> <p>1 人生100年時代の高齢期…高齢者を取り巻く社会…</p> <p>2 年をとると変わる…高齢者の心身の特徴…</p> <p>3 高齢期の生活を支える…高齢者福祉の考え方…</p> <p>4 介護を支える…介護保険のしくみと理解…</p> <p>5 これからの高齢社会…地域や社会の果たす役割…</p> <p>第6章 共生社会をつくる</p> <p>1 生活課題の乗り越え方…家族・家庭を支える福祉…</p> <p>2 みんなで支え合うしくみ…社会保障と地域福祉…</p> <p>3 とともに生き、社会をつくる…共生社会の実現…</p> <p>第7章 持続可能な社会をつくる</p> <p>1 地球が危ない…生活の環境のかかわり…</p> <p>2 ライフスタイル再考…持続可能な消費…</p> <p>3 めざせ！ 持続可能な社会…参画する意義…</p>	<p>第5章 高齢期の生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エイジレス社会」の構築が必要であることを理解する。 ・高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的方策を考える。 ・高齢期の生活課題を把握する。 ・介護保険制度の概要を理解する。 ・家族や地域が果たす役割について考える。 <p>第6章 共生社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生におけるリスク管理の必要性を理解する。 ・社会保障制度の概要について理解する。 ・共生社会の理念について理解する。 <p>第7章 持続可能な社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源を循環させる必要性とその方法を知る。 ・持続可能な社会と個人個人のライフスタイルの関連を理解する。 ・持続可能な社会に必要な法律や制度について理解する。 	
3	<p>第9章 食生活のマネジメント</p> <p>1 体と心を満たす食事…食事の役割…</p> <p>2 イエローカードかも？…食生活を見直す…</p> <p>3 日本の食文化“WASHOKU”…日本と世界の食文化…</p> <p>4 栄養バランスのよい食事…栄養素の量と食事の量…</p> <p>5 炭水化物を摂る…炭水化物の働きと食品の調理性…</p> <p>6 脂質を摂る…脂質の働きと食品の調理性…</p> <p>7 たんぱく質を摂る…たんぱく質の働きと食品の調理性…</p> <p>8 無機質を摂る…無機質の働きと食品の調理性…</p> <p>9 ビタミンを摂る…ビタミンの働きと食品の調理性…</p> <p>10 豊かな食卓に…調味料・香辛料・嗜好品・加工食品…</p> <p>11 食品のプロフィールを知る…食品の選択と購入…</p> <p>12 食品を安全に取り扱う…食品の保存と衛生…</p> <p>13 持続可能な食生活…環境と食生活…</p> <p>14 みんなでおいしい食事…食事計画の立て方…</p> <p>15 調理のワザを身につける…調理の技能と調理実習…</p>	<p>第9章 食生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意味を知る。 ・自らの食生活について多面的に考える力を養う。 ・日本と世界の食文化について理解する。 ・食事と食品と栄養素の関係について理解する。 ・炭水化物の働きとその重要性を理解する。 ・脂質のさまざまな働きについて理解する。 ・たんぱく質のさまざまな働きについて理解する。 ・無機質のさまざまな働きについて理解する。 ・ビタミンのさまざまな働きについて理解する。 ・調味料・香辛料の特徴と調理での活用のしかたを知る。 ・食品の流通経路を知り食品の鑑別や購入できる能力を養う。 ・消費者として身につけるべき知識と判断力について考える。 ・持続可能な食生活を考える。 ・献立を作成できるようにする。 ・調理を科学的に理解する態度を養う。 	
学習上の留意点	学習を自分の生活や人生、社会に結びつけ、自らマネジメントできる力を身につける。		